

★ 第 137 回 日本社会分析学会例会プログラム★

日程：2019年7月27日（土）～7月28日（日）

会場：熊本大学（〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）

報告会場：文法学部本館1階A3教室

※持ち時間はSの場合30分(報告20分:質疑10分)、Lの場合60分(報告30分:質疑30分)が標準です。レジュメや資料は35部程度ご準備ください。報告にてプロジェクターが使えます。

**7月27日(土)**

理事会 12:00～13:00

開 会 13:20

**自由報告部会 I (13:20～14:50)**

1. 「中山間地域の医師不足解消に期待される医学部「地域枠」について—広島県での制度運用を事例に」(S)  
塚本 直巳（広島県地域保健医療推進機構）
2. 「高齢女性の住居に対する意味付けとその相続」(S)  
入江 彩夏（九州大学大学院）
3. 「超巨大開発における家族の選択—中国三峡ダム建設による移住者の家郷への帰還を事例に」(S)  
杜 安然（熊本大学大学院）

=Coffee Break(10分)=

**自由報告部会 II (15:00～16:30)**

1. 「Positioning migrant acculturation in social, political and economic context of inter-group relationships and interactions」(S)  
Myagmarjargal Purev（九州大学大学院）
2. 「コミュニティ複合の着想」(S)  
三隅 一人（九州大学）
3. 「学校に行き直す高校中退者」(S)  
三代 陽介（熊本大学）

=Coffee Break(10分)=

**総会(役員選挙)(16:40～17:40)**

**懇親会(18:00～20:00)** (会費：有職者 4,000 円、有職者以外 3,000 円)

**7月28日(日)**

**自由報告部会 III (10:00～12:00)**

1. 「ターゲットとなる子ども—幼児雑誌の付録の分析より」(S)  
桑畑 洋一郎（山口大学）
2. 「複業とコミュニティ—ドイツ農村の事例から」(S)  
松本 貴文（下関市立大学）
3. 「小津安二郎作品に見る戦後・高度成長期の社会—家族・感情の表出・生活空間の拡大に関する社会学的考察」(L)  
叶堂 隆三（下関市立大学）

閉会 12:00